

# 愛知県ヤングケアラー支援市町村モデル事業

## 報告書

～ モデル市町村の先進的な取組事例集 ～

2025 年 8 月

愛知県福祉局児童家庭課





## はじめに

「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者」とされています。

子ども・若者が、家族の一員として、料理や掃除をしたり、幼いきょうだいや高齢の家族のお世話をしたりすることは、家族のつながりや本人の力を育む面もあり、一概に悪いこととは言えません。

しかし、その家事や世話の負担が、年齢に見合わないほど大きくて、勉強や部活動、友人と過ごす時間、学生生活や就職活動など、子ども・若者らしい、かけがえのない時間を過ごせない子ども・若者たちがいます。

国は、2021 年 4 月、子ども本人を対象としたヤングケアラーに関する初の全国調査の結果を公表しました。その後、国のプロジェクトチーム報告において、早期発見・把握、支援策の推進、社会的認知度の向上といった、今後取り組むべき施策が設定され、国は、地方自治体の取組推進や広報啓発、支援マニュアル等に関する調査研究を実施してきました。

また、2024 年 6 月には、改正子ども・若者育成支援推進法において、各種支援に努めるべき対象として、ヤングケアラーが法律上明記されたところです。

愛知県は、県内におけるヤングケアラーの実態を把握するため、2021 年 11 月から翌年 2 月にかけて「愛知県ヤングケアラー実態調査」を実施しました。調査では、3 万人を超える多くの子どもたちからの回答に加え、学校、支援関係機関、元ヤングケアラーにもアンケートやヒアリングに御協力いただき、愛知県における現状や課題を整理しました。

さらに、この調査結果を踏まえて、2022 年度からは、ヤングケアラーの把握から支援までの一貫した支援体制の構築を図る「市町村モデル事業」を始めとする、各種支援策に取り組んできました。ヤングケアラー支援の「市町村モデル事業」は、2024 年度をもって 3 か年の事業期間が完了したところであり、今後はその成果を、県内全域に展開していくこととしています。

この報告書は、各市町村がヤングケアラー支援を進める際に参考となるような取組事例集として、「市町村モデル事業」に参画いただいたモデル市町村（豊橋市・大府市・春日井市）の先進的な取組の実績・成果を中心に、これまでのヤングケアラー支援策に関する情報を掲載するとともに、愛知県の今後の取組方向なども記載しています。

是非、県内市町村を始めとする関係の皆様にご活用いただき、ヤングケアラー及びその家族への支援体制づくりの一助としていただければ幸いです。

最後に、市町村モデル事業を始めとする愛知県の事業に御尽力いただきました、豊橋市・大府市・春日井市や関係者の皆様、貴重なアドバイスをいただきました多くの方々に、深く感謝申し上げます。

目次

第1章 ヤングケアラー支援の経緯

1 ヤングケアラー関連施策に係る年表（2021 年度以降） ..... 1

2 愛知県ヤングケアラー実態調査の結果を踏まえた支援の方向性 ..... 5

コラム1 ヤングケアラーの定義／県実態調査で得られた子どもたちの声 ..... 7

第2章 愛知県のヤングケアラー支援策（2022～2024 年度）

1 市町村モデル事業 ..... 9

（1）豊橋市 ..... 11

（2）大府市 ..... 35

（3）春日井市 ..... 55

内容（3 市共通）

|              |                  |
|--------------|------------------|
| ○ 実施期間       | ○ 人口及び学校数        |
| ○ 担当部署（主な所管） | ○ 担当部署の実施体制      |
| ○ 多機関連携体制    | ○ ヤングケアラー支援状況    |
| ○ 各種事業の実施状況  | ○ モデル事業により得られた知見 |
| ○ 今後に向けて     |                  |

2 愛知県の主な取組 ..... 75

コラム2 子どもアンケート：モデル市町村以外の取組例 ..... 81

コラム3 教育と福祉との連携を図る取組 ..... 83

|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| <b>第3章 今後の取組方向</b>                        | 85  |
| 1 愛知県の取組方向                                | 86  |
| 2 愛知県の主な取組（2025 年度）                       | 89  |
| <u>コラム4 支援マニュアルやアセスメントツールの紹介</u>          | 91  |
| <u>コラム5 様々な団体による取組の広がり</u>                |     |
| 「県政お届け講座」を活用した、様々な団体による研修会・勉強会            | 93  |
| 愛知県立杏和高等学校「福祉・医療サービス系列」ヤングケアラーに関する探究学習    | 94  |
| 公益財団法人明治安田こころの健康財団と、愛知県内の自治体・学校との連携       | 95  |
| 名古屋学院大学 学生チーム「BE HAPPY」、ヤングケアラー版クロスロードゲーム | 96  |
| <b>付録</b>                                 | 97  |
| ○ モデル市町村 様式集                              | 98  |
| ○ 支援者向けガイドブック フォーマット                      | 111 |
| ○ ヤングケアラー支援関係機関研修（地区別研修）ワークショップ資料         | 117 |
| <b>巻末資料「連携支援 十か条」</b>                     | 119 |



## 第1章 ヤングケアラー支援の経緯

### 1 ヤングケアラー関連施策に係る年表（2021年度以降）

愛知県は、2021年度以降、県内のヤングケアラーに関する実態把握や、各種支援策に取り組んできました。ここでは、2021年4月以降の、愛知県のヤングケアラー支援に関する主な施策を中心に、時系列で紹介します。

| 年月      | 主な施策                                                                                         |                                          |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
|         | 愛知県                                                                                          | 全国（抜粋）                                   |
| 2021.4  |                                                                                              | ・ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書公表<br>（中学生、高校生調査） |
| 2021.6  | <b>ヤングケアラー実態調査に係るWT 立ち上げ</b><br>実態調査の内容・方法を検討・整理するため、庁内関係課室によるワーキングチームを立ち上げ                  |                                          |
| 2021.11 | <b>愛知県ヤングケアラー実態調査 実施（～2022.2）</b><br>子どもや学校へのアンケート調査と、支援関係機関や元ヤングケアラーへのインタビュー調査により構成         |                                          |
| 2022.3  | <b>愛知県ヤングケアラー実態調査 結果公表</b> <span>P5,6,8</span><br>子どもアンケート調査は、約3万人（回答率約81%）の児童・生徒が回答         |                                          |
| 2022.4  | <b>県ヤングケアラー・コーディネーター 配置</b> <span>P79</span><br>関係機関が連携する際のパイプ役となるコーディネーターを配置                | ・ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書公表<br>（小学生、大学生調査） |
| 2022.6  | <b>愛知県 Web ページ「ヤングケアラーについて」 立ち上げ</b> <span>P80</span><br>県のヤングケアラー支援策に関する情報をまとめたポータルサイトを立ち上げ | ・多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル公表            |

| 年月      | 主な施策                                                                                                         |                                      |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
|         | 愛知県                                                                                                          | 全国（抜粋）                               |
| 2022.7  | <b>ヤングケアラー支援事業に係る WT 開催</b> <span>P80</span><br>「ヤングケアラー実態調査に係る WT」を名称変更して、事業の円滑な実施を図る庁内ワーキングチームを開催（以降、随時開催） |                                      |
| 2022.8  | <b>愛知県ヤングケアラー理解促進シンポジウム 開催</b> <span>P76</span><br>キックオフイベントとして、幅広い支援関係者や一般県民を対象としたシンポジウムを開催                 |                                      |
| 2022.9  | <b>支援関係機関研修（地区別研修） 開催</b> <span>P78</span><br>市町村職員を始めとする支援関係機関を対象とした研修を開催（～10 月）                            |                                      |
| 2022.10 | <b>市町村モデル事業 開始</b> <span>P9～74,79</span><br>支援体制の構築を図るモデル事業を、3 か所で開始<br>（豊橋市 10 月～、大府市 11 月～、春日井市 12 月～）     |                                      |
| 2022.12 | <b>子ども向け啓発パンフレット 作成・配布</b> <span>P75</span><br>ヤングケアラーについてのパンフレットを作成し、小学 5 年生から高校 3 年生までの児童・生徒に配布            |                                      |
| 2023.3  | <b>ヤングケアラー・ピアサポーター養成研修 開催</b> <span>P80</span><br>県内市町村のヤングケアラー向けサロンにおける、聞き役等の担い手を募集・養成                      |                                      |
| 2023.4  | <b>市町村モデル事業 2 年目</b> <span>P9～74,79</span><br>豊橋市、大府市、春日井市でのモデル事業 2 年目として、子どもに寄り添う取組など、事業全般を本格的に実施           | ・ヤングケアラー支援に係るアセスメントツール等の使い方ガイドブック 公表 |
| 2023.8  | <b>愛知県・名古屋市ヤングケアラー支援関係者研修 開催</b> <span>P77</span><br>愛知県と名古屋市の共同主催で、幅広い支援関係者等を対象とした研修会を開催                    |                                      |

（次ページに続く）

| 年月      | 主な施策                                                                                                  |        |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
|         | 愛知県                                                                                                   | 全国（抜粋） |
| 2023.8  | <b>支援関係機関研修（地区別研修） 開催</b> <span>P78</span><br>市町村職員を始めとする支援関係機関を対象とした研修を開催（～9月）                       |        |
| 2023.9  | <b>市町村モデル事業中間報告会（オンライン） 開催</b> <span>P79</span><br>市町村担当者向けに、市町村モデル事業の取組を紹介するオンライン報告会を開催（～10月）        |        |
| 2023.11 | <b>県内市町村との意見交換</b> <span>P79</span><br>県のヤングケアラー・コーディネーターや担当者が、希望市町村への訪問等による意見交換を実施（～3月）              |        |
| 2023.12 | <b>子ども向け啓発パンフレット 配布</b> <span>P75</span><br>ヤングケアラーについての子ども向けパンフレットを小学5年生の児童に配布                       |        |
| 2024.2  | <b>ヤングケアラー・ピアサポーターフォローアップ研修 開催</b> <span>P80</span><br>前年度のヤングケアラー・ピアサポーター養成研修の修了者を対象として、フォローアップ研修を開催 |        |
| 2024.3  | <b>ヤングケアラー・ピアサポーター養成研修 開催</b> <span>P80</span><br>県内市町村のヤングケアラー向けサロンにおける、聞き役等の担い手を募集・養成               |        |
| 2024.4  | <b>市町村モデル事業 3年目</b> <span>P9～74,79</span><br>豊橋市、大府市、春日井市でのモデル事業3年目として、それまでの取組をさらに深化                  |        |
| 2024.6  | <b>改正子ども・若者育成支援推進法 公布・施行</b><br><b>（ヤングケアラー支援の強化に係る法改正）</b>                                           |        |
| 2024.8  | <b>愛知県・名古屋市ヤングケアラー支援関係者研修 開催</b> <span>P77</span><br>愛知県と名古屋市の共同主催で、幅広い支援関係者等を対象とした研修会を開催             |        |

第1章 ヤングケアラー支援の経緯

1 ヤングケアラー関連施策に係る年表（2021年度以降）

| 年月      | 主な施策                                                                                                                                                                                                    |        |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
|         | 愛知県                                                                                                                                                                                                     | 全国（抜粋） |
| 2024.9  | <b>支援関係機関研修（地区別研修） 開催</b> <span>P78</span><br>市町村職員を始めとする支援関係機関を対象とした研修を開催                                                                                                                              |        |
| 2024.11 | <b>子ども向け啓発パンフレット 配布</b> <span>P75</span><br>ヤングケアラーについての子ども向けパンフレットを小学5年生の児童に配布                                                                                                                         |        |
| 2024.12 | <b>SNS 相談窓口でのヤングケアラー相談 開始</b> <span>P80</span><br>愛知県「親子のための相談 LINE」の対象を拡大し、ヤングケアラー（18歳以上を含む）からの相談受付を開始<br><br><b>ヤングケアラー・サロン等協力者研修 開催</b> <span>P80</span><br>2023年度までの「養成研修」と「フォローアップ研修」を一本化して実施（～3月） |        |
| 2025.1  | <b>県内市町村との意見交換</b> <span>P79</span><br>県ヤングケアラー・コーディネーターや担当者が、希望市町村への訪問による意見交換を実施（～2月）                                                                                                                  |        |
| 2025.2  | <b>子ども向け啓発パンフレット 外国語版 作成</b> <span>P75</span><br>ヤングケアラーについての子ども向けパンフレットの外国語版を作成し、県 Web ページにて公表                                                                                                         |        |
| 2025.3  | <b>市町村モデル事業報告会（オンライン）開催</b> <span>P79</span><br>市町村担当者向けに、市町村モデル事業の取組を紹介するオンライン報告会を開催<br><br><b>市町村モデル事業 事業期間終了</b>                                                                                     |        |

## 2 愛知県ヤングケアラー実態調査の結果を踏まえた支援の方向性

2021 年度に実施した「愛知県ヤングケアラー実態調査」で明らかになったヤングケアラーの状況から、愛知県における課題として、以下の 4 つが抽出されました。

### ヤングケアラーという言葉や問題の認知度が低く、相談につながらない

#### <主な調査結果>

- ・「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている割合  
小学 5 年生 8.9% 中学 2 年生 13.7% 高校 2 年生(全日制) 16.8%
- ・元ヤングケアラーインタビュー  
「お手伝いの延長という感覚でケアを担っていたので、自分がヤングケアラーであるという自覚はなかった。」

### 家族のことは話しにくいいため、相談したことがある子どもの割合が低い

#### <主な調査結果>

- ・家族を世話する子どものうち、相談したことがある割合  
小学 5 年生 29.7% 中学 2 年生 14.5% 高校 2 年生(全日制) 13.6%
- ・元ヤングケアラーインタビュー  
「家庭環境について、周りに相談したことは一度もない。」

### 家庭内の問題として表面化しにくく、支援が届いていない家庭が多い

#### <主な調査結果>

- ・ヤングケアラーがいるか不明な学校のうち、問題が表に出にくく把握が難しい割合  
小学校 94.9% 中学校 92.4% 高校 97.1%
- ・関係機関インタビュー  
「福祉サービス終了後の家庭状況は把握しきれない。  
ケース支援が途切れないようにするためには、多機関・多職種による支援体制が必要である。」

### 当事者の集いの場や自由に使える時間、学習サポートを希望する子どもが多い

#### <主な調査結果>

- ・家族を世話する子どもが希望すること（中 2）  
【1 位】学習サポート 17.2% 【2 位】自由に使える時間 16.8% 【3 位】話を聞いてほしい 13.3%
- ・元ヤングケアラーインタビュー  
「話を聞いてくれる相手がいることで、家族をケアすることの責任の重さから解放された。」

愛知県では、調査結果により抽出された課題を踏まえ、「知る」「相談する」「見つけて支援する」「寄り添う」といった**4つの支援の方向性**に沿って、市町村モデル事業を始めとする様々な支援策を展開してきました。

### 愛知県ヤングケアラー実態調査の結果から抽出された課題と、4つの支援の方向性

| 抽出された課題                             |   | 支援の方向性                          |
|-------------------------------------|---|---------------------------------|
| ヤングケアラーという言葉や問題の認知度が低く、相談につながらない    | ➡ | <b>知る</b> ヤングケアラーについて広く知ってもらう   |
| 家族のことは話しにくい、相談したことがある子どもの割合が低い      | ➡ | <b>相談する</b> 子どもが相談しやすい環境を作る     |
| 家庭内の問題として表面化しにくく、支援が届いていない家庭が多い     | ➡ | <b>見つけて支援する</b> 気になる家庭を見つけて支援する |
| 当事者の集いの場や自由に使える時間、学習サポートを希望する子どもが多い | ➡ | <b>寄り添う</b> 子どもに寄り添う            |

第2章では、「市町村モデル事業」を中心に、2022年度から2024年度までの愛知県のヤングケアラー支援策について、詳しく紹介していきます。

### 参考 愛知県ヤングケアラー実態調査 概要

調査期間 2021年11月～2022年2月

(アンケート調査 2021年11～12月、インタビュー調査 2021年12月～2022年2月)

|          |       | 対象                          | 回答状況                      |
|----------|-------|-----------------------------|---------------------------|
| アンケート調査  | 児童・生徒 | 県内公立小中高等学校(2割)の小5、中2、高2【匿名】 | 30,597/37,728人<br>(81.1%) |
|          | 学校    | 県内すべての公立小中高等学校              | 1,197/1,573校<br>(76.1%)   |
| インタビュー調査 |       | 元ヤングケアラー                    | 8人                        |
|          |       | 相談支援機関等                     | 25機関                      |

- ・ 主な調査結果については、8ページをご覧ください。
- ・ 詳しい調査結果は、愛知県児童家庭課 Web ページ「ヤングケアラーについて」に掲載しています。  
【URL】 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jidoukatei/aichiyoungcarer.html>

## コラム1 ヤングケアラーの定義／県実態調査で得られた子どもたちの声

ヤングケアラーとは、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に担っている子ども・若者とされています。



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

出典：こども家庭庁「ヤングケアラーについて」(<https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer>)

### ＜法文上の記載＞

2024年6月12日付け こ支庁第265号 こども家庭庁支援局長

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の一部施行について（ヤングケアラー関係）

2024年6月12日に施行された、改正子ども・若者育成支援推進法では、「**家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者**」として、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象に**ヤングケアラー**を明記しています。

法文上の「**家族の日常生活上の世話**」とは、明示されている「**介護**」に加え、**幼いきょうだいの世話**、障害や病気等のある家族に代わって行う**家事や労働**のほか、目の離せない家族の見守りや声掛けなどの**気遣いや心理的な配慮**、**通訳**なども含まれます。

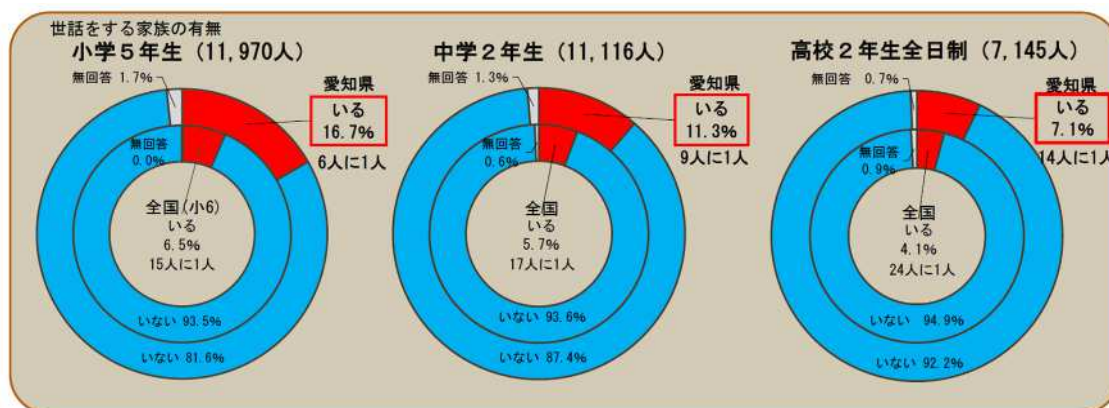
また、「**過度に**」とは、子ども・若者が「**家族の介護その他の日常生活上の世話**」を行うことにより、「**社会生活を円滑に営む上での困難を有する**」状態に至っている場合、すなわち、

- ① こどもにおいては、こどもとしての健やかな成長・発達に必要な時間（遊び・勉強等）を、  
若者においては、自立に向けた移行期として必要な時間（勉強・就職準備等）を奪われたり、
- ② ケアに伴い身体的・精神的負荷がかかったりすることによって、負担が重い状態になっている場合  
を指すものとされています。

なお、**支援対象であるかの判断**を行うに当たっては、その範囲を狭めることのないように十分留意し、一人一人の**こども・若者の客観的な状況と主観的な受け止め等**を踏まえながら、**その最善の利益の観点から、個別に判断**していくことが重要とされています。

## ＜愛知県ヤングケアラー実態調査で得られた子どもたちの声＞

愛知県が2021年度に実施した実態調査では、「世話をする家族がいる」と答えた子どもの割合は、**小学5年生で16.7%、中学2年生で11.3%、高校2年生（全日制）で7.1%**でした。この中に、ヤングケアラーが含まれているものと考えられます。



出典：愛知県ヤングケアラー実態調査 調査結果の概要（2022年8月更新）

また、ヤングケアラーの自己認識について、「**自分がヤングケアラーにあてはまる**」と回答した子どもは、**小学5年生で2.9%、中学2年生で2.2%、高校2年生（全日制）で1.7%**でした。

アンケート調査の最後には、子どもたちに**自由意見**を書いてもらいました。その一部を紹介します。

支援を受ける側の人が頼れる場所を利用しやすくなると嬉しいです。

私の親が、支援を受ける側の人なのですが、私が調べてみても実態がよく分からず、一歩踏み出すことが難しく感じます。子どもだけで行動しようと思っても分からないことが多いので、周りの大人が動いてくれると助かります。

なので、**自分自身の問題では無い**と思っている人達にも、**支援を必要とする人が周りにもいる、またその人を支えなければならない子どももいる**ということが、広まってほしいです。

私には障害を持っているきょうだいがいますが、負担だと思ったことは一度もありません。

お風呂に一緒に入ったり、お迎えを頼まれることもあるけど、家族で助け合うことは当然だと思っています。お母さんがこの前、周りの人に家族のことを話したら、「あなたのお子さん、ヤングケアラーなんじゃない？」と言われたらしく、「そんな風に見えるのかなあ」とショックを受けていました。私も、きょうだいが障害を持っているだけでそう思われるのか、と少し悲しくなりました。

**私自身、最近までヤングケアラーという言葉自体知らなかった**ので、**まずは正しい知識とか、全員が負担に思っているわけじゃないことをみんなに知ってほしいです。**

このほかの子どもたちの声として、「**友達や助けてほしいような人がいたら、声をかけたい**」「**相手の気持ちを考えて、できるだけ嫌な思いをさせないようにして、手伝いたい**」「**優しい気持ちで、助け合うことが大事だと思う**」といった意見もありました。

## 第2章 愛知県のヤングケアラー支援策（2022～2024 年度）

### 1 市町村モデル事業

ヤングケアラーへの支援は、**把握、支援、その後の見守りまで一貫して行うことが重要**です。また、ヤングケアラーやその家庭の状況に応じて必要な支援を届けるためには、**身近な地域での体制づくりが不可欠**です。

このため、愛知県では、「ヤングケアラーについて広く知ってもらう」「子どもが相談しやすい環境を作る」「気になる家庭を見つけて支援する」「子どもに寄り添う」の**4つの支援の方向性に沿った支援策**を、市町村から提案いただき、市町村と愛知県が協働で実施する「**市町村モデル事業**」に取り組んできました。

**モデル市町村の豊橋市、大府市、春日井市**は、位置する地域や人口規模、担当部署の所管業務も異なっていますが、モデル市町村同士や愛知県と連携しながら、**それぞれの実情に合わせた支援体制**を整え、**創意工夫を凝らした事業**を展開されてきました。

ここからは、「市町村モデル事業」の実績を、モデル市町村ごとに紹介していきます。

「市町村モデル事業」のモデル市町村



「地理院地図（電子国土 Web）」（国土地理院 <https://maps.gsi.go.jp/>）をもとに愛知県作成

## 市町村モデル事業の概要

### 事業スキーム

愛知県が、2022 年度に公募により選定したモデル市町村に対して、事業を委託して実施。

### 事業概要

モデル市町村は、ヤングケアラーの把握から支援までの一貫した支援体制を構築するため、地域特性や当事者ニーズ等を踏まえて、創意工夫を凝らした支援事業を企画し、実施する。

愛知県は、モデル市町村が事業を円滑に推進できるよう、サポートを行うとともに、県内全域における支援の充実を図るため、モデル事業の成果を他市町村に展開することを目的とする。

### 実施期間

2022 年度から 2024 年度までの 3 か年

※ 委託契約は、年度ごとに締結

### モデル市町村（3 か所）

|      | 豊橋市                                                               | 大府市                                 | 春日井市                                 |
|------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
|      | 人口 約 37 万人<br>(中核市)                                               | 人口 約 9 万人<br>(一般市)                  | 人口 約 31 万人<br>(一般市)                  |
| 担当部署 | こども若者総合相談支援<br>センター（ココエール）                                        | 福祉総合相談室                             | こども家庭支援課                             |
|      | 【主な所管】<br>・ 児童福祉<br>(こども家庭センター)<br>・ 子ども・若者支援<br>(子ども・若者総合相談センター) | 【主な所管】<br>・ 重層的支援体制整備事業             | 【主な所管】<br>・ 児童福祉、母子保健<br>(こども家庭センター) |
| 事業期間 | 2022 年 10 月 1 日<br>～2025 年 3 月 31 日                               | 2022 年 11 月 1 日<br>～2025 年 3 月 31 日 | 2022 年 12 月 16 日<br>～2025 年 3 月 31 日 |

(備考) 担当部署は、2024 年 4 月 1 日時点です。

### 実績額（合計額）

2022 年度 7,064,459 円／3 か所

2023 年度 18,957,030 円／3 か所

2024 年度 22,120,025 円／3 か所

（ 県 10/10  
ただし、財源の一部として、国庫補助金（ヤングケアラー支援体制強化事業費等）を充当 ）